

府中町 第5次総合計画 基本計画案 (中間報告)

令和7年11月20日時点

【まちの将来像】

みんなの「暮らしたい」が

基本目標

ともに支えあい 健やかに 「暮らしたい」

(1) まち全体で支えあえる体制をつくる

- ① 全世代に対する相談支援・生活支援の充実と居場所づくり
- ② 高齢者福祉の充実
- ③ 障がい者福祉の充実

(2) こども・若者の成長を支える

- ① こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり
- ② 子育て家庭を支える環境づくり

(3) 健やかで自分らしく暮らせる環境をつくる

- ① ライフステージに応じた健康づくり

1

ともに学び 今も未来も幸せに 「暮らしたい」

(1) 「生きる力」を育む学校をつくる

- ① 「確かな学力」の育成
- ② 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

(2) 生涯を通じ学び続けられる環境をつくる

- ① 生活に彩りを添える学びの環境づくり
- ② スポーツに親しむ環境づくり

(3) 学校を中心としたコミュニティの輪を広げる

- ① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

(4) まちの文化財を次世代へつなげる

- ① 歴史を身近に感じる機会の創出と文化財の適切な保存・活用

(5) 安心して学びあえる教育環境をつくる

- ① 教育施設・設備の充実
- ② 教育体制の充実

2

みんなの「暮らしたい」を支える

(1) 魅力的に暮らしたくなるまちをつくる

- ① 地域ブランド力の向上と発信
- ② 平和行政の展開

(2) むらしに寄り添える体制をつくる

- ① 総合的なまちづくりの推進
- ② デジタルトランスフォーメーション(DX)による行政サービスの向上
- ③ 広報公聴の充実

6

かなうまち あきふちゅう

基本目標



3

つながりを深め 豊かに 「暮らしたい」

(1) 地域のさまざまなつながりを支える

- ① 地域コミュニティの活性化
- ② 商工業の活性化
- ③ 人権の尊重と男女共同参画社会の推進

(2) 豊かで持続可能な環境をつくる

- ① ゼロカーボンシティの実現
- ② 豊かな自然環境との共生
- ③ 循環型社会の形成
- ④ 地域協働による環境づくりの推進
- ⑤ 快適で質の高い生活環境の保全



4

安全なまちで 安心して 「暮らしたい」

(1) 災害に強いまちをつくる

- ① 防災体制の充実・強化
- ② 市街地の土砂災害・地震対策
- ③ 市街地の浸水対策

(3) 安心して暮らせる消防体制をつくる

- ① 火災予防体制の充実・強化
- ② 消防体制の充実・強化
- ③ 救急体制の充実・強化



5

いつも心地よく 便利に 「暮らしたい」

(1) 快適を感じる都市空間をつくる

- ① 集約型都市構造の形成
- ② 移動の円滑化

(3) 便利で暮らしやすい住環境をつくる

- ① 生活基盤施設の保全
- ② 生活道路の整備
- ③ 快適な住まいづくりの促進

(2) 暮らし心地を高める都市基盤をつくる

- ① 計画的な都市施設の整備
- ② 公園の充実

(3) ずっと暮らし続けられる行財政基盤をつくる

- ① 財政基盤の安定化
- ② 公共施設の適切な管理
- ③ 公有財産の有効活用
- ④ 持続可能性を高める職員づくり・組織づくり

1

基本目標

【福祉・子育て・健康】

ともに支えあい 健やかに
「暮らしたい」



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

(1) まち全体で支えあえる体制をつくる

●●

(2) こども・若者の成長を支える

●●

(3) 健やかで自分らしく暮らせる環境をつくる

●●

基本施策（1）

まち全体で支えあえる体制をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

住民の抱える生活課題は、年齢・性別・国籍などの属性や、生活困窮・障がい・介護・家族構成などの状況によって異なります。誰もが安心して相談でき、心安らげる場所を確保するため、住民・行政・関係機関が協働して、包括的な支援体制を構築します。

誰もが社会参加でき、住み慣れた地域で自分らしく心豊かに暮らせる環境づくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 全世代に対する相談支援・生活支援の充実と居場所づくり
- ② 高齢者福祉の充実
- ③ 障がい者福祉の充実

▶ 単位施策の方向性

① 全世代に対する相談支援・生活支援の充実と居場所づくり

- ・ 住民や地域が抱える複雑・複合化した課題に対し、高齢者・子ども・障がい者・生活困窮者など、各分野がもつ支援体制を相互に連携させることで、包括的に支援できる体制を構築します。
- ・ 相談支援関係機関と町が相互に支援内容等を共有することで、住民からの相談に適切に対応し、必要な支援に繋げられる環境を整備します。

<単位施策指標>

- 相談件数(生活困窮者)
- 相談件数(高齢者)
- 相談件数(障がい者)

② 高齢者福祉の充実

- ・ 高齢者ができるだけ住み慣れた地域で自立した生活を送り、いつまでも元気に暮らせるよう、介護予防の充実を図ります。
- ・ 高齢者が様々な分野で生きがいを感じられるよう、高齢者の社会参加や元気づくりにつながる取組を支援します。

<単位施策指標>

- 地域活動等に自主的に参加する高齢者の割合

③ 障がい者福祉の充実

- ・ 障がい者とその家族が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、各種福祉サービスの充実を図ります。
- ・ 障がい者が地域の中で自分らしく社会参加できるよう、外出支援の充実を図ります。

<単位施策指標>

- 外出や余暇活動等により社会参加をする障がい者の人数

基本施策（2）

こども・若者の成長を支える

▶ 基本施策の目的と方向性

こども・若者や子育て家庭などに対して、それぞれのライフステージに応じた支援を切れ目なく提供することで、様々な背景をもつこども・若者が心身ともに健やかに成長し、主体的に活躍できる「こどもまんなか」の環境づくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり
- ② 子育て家庭を支える環境づくり

▶ 単位施策の方向性

① こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり

- ・ ネウボラセンターによる情報提供や困りごとの聴き取りなど、子育て家庭やこども・若者に対して行政から働きかけを行い、困難を抱えるこども・若者を早期に発見し、支援できる環境づくりを推進します。
- ・ 支援が必要なこども・若者・子育て当事者に対して、こども家庭センターが一体的な相談支援を行い、さまざまな分野の支援内容を組み合わせた「サポートプラン」を作成することで、個別の課題に応じた支援体制を構築します。

<単位施策指標>

- 健診で相談を行った割合

② 子育て家庭を支える環境づくり

- ・ 仕事と子育ての両立など、多様な生活スタイルの子育て家庭を支援し、すべての子どもたちが心身ともに健やかに暮らせる環境づくりを推進します。

<単位施策指標>

- 通園により家庭以外と関わりをもつ未就園児数

基本施策（3）

健やかで自分らしく暮らせる 環境をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

生涯において、健やかに生活を送れるよう、住民の健康意識の向上と地域での自主的な健康づくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① ライフステージに応じた健康づくり

▶ 単位施策の方向性

① ライフステージに応じた健康づくり

- ・ 住民の健康づくりのきっかけとなるよう、イベント等での健康啓発に係る取組を充実させるとともに、地域での自主的な健康づくりの機会を提供します。
- ・ 乳児期から高齢期までの各世代の健康課題に応じた健康診査や予防接種を実施することで、疾病の早期発見や予防を推進します。

<単位施策指標>

- 健康づくりへの参加人数

健やかで自分らしく暮らせいる環境をつくる

基本目標 1 ともに支えあい 健やかに 「暮らしたい」

2

基本目標

【教育・文化】

ともに学び 今も未来も幸せに
「暮らしたい」



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 「生きる力」を育む学校をつくる | ● ● |
| (2) 生涯を通じ学び続けられる環境をつくる | ● ● |
| (3) 学校を中心としたコミュニティの輪を広げる | ● ● |
| (4) まちの文化財を次世代へつなげる | ● ● |
| (5) 安心して学びあえる教育環境をつくる | ● ● |

基本施策（1）

「生きる力」を育む学校をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

次世代を担う子どもたちが、誰一人取り残されず、その持っている可能性の伸長を目指し、新しい時代に求められる資質・能力が身に付くよう、また、豊かな情操や自己肯定感、他者への思いやりを養うことができるよう、学校教育の充実に取り組むことで、未来の社会の創り手となり得る人材を育成します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 「確かな学力」の育成
- ② 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

▶ 単位施策の方向性

① 「確かな学力」の育成

- 教職員の能力向上やデジタル技術の活用をはじめとした教育の質の向上と、学習上の困難に応じた支援の充実を図ることで、自分らしく学び、ともに高め合う学びを推進します。
- 児童生徒が日常的に外国語に触れる機会を確保することで、外国語によるコミュニケーション能力向上を図ります。
- 幼児教育、小学校教育、中学校教育が連携・接続することで、児童生徒の発達段階に応じたつながりのある学びを推進します。

<単位施策指標>

- 「勉強は好き」と思う児童生徒の割合

② 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

- 様々な活動に主体的に取り組み、互いの良さや可能性を發揮しながら、夢や目標を実現するための力を育成します。
- 外部専門家による指導など学校体育の充実を通じて、体を動かすことが好きな児童生徒を育成します。

<単位施策指標>

- 「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合

基本施策（2）

生涯を通じ学び続けられる 環境をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

人生100年時代を迎える中、すべての人々が 主体的に学び、学んだことを教え合い、その成果を地域に還元することにより、地域のウェルビーイングの向上につながるよう、文化や芸術、スポーツ等にいつでも身边に触れ、親しみ、生涯を通じて学び続けることができる生涯学習を推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 生活に彩りを添える学びの環境づくり
- ② スポーツに親しむ環境づくり

▶ 単位施策の方向性

① 生活に彩りを添える学びの環境づくり

- ・住民の交流や学習の拠点である公民館において、施設の貸し出しなどにより地域での自主的な活動を支援し、講座やイベントの開催により活動の成果を地域へ還元します。
- ・住民の学習・読書意欲に応えるため、町立図書館において、利用者ニーズに合わせた資料の充実と、利便性の向上を図ります。
- ・住民の家庭教育を支援するため、町内で家庭教育講座などを開催する担い手の養成を推進します。
- ・町内で芸術・文化活動を行う団体に対して、発表機会の提供や活動の支援を行うことで、芸術・文化活動を推進します。
- ・芸術・文化イベントの開催等、各分野の専門家の知見を取り入れながら、住民が芸術や文化に触れ合える機会を創出します。

<単位施策指標>

- 公民館・図書館利用者数

② スポーツに親しむ環境づくり

- ・住民・学校・地域団体のつながりを構築するとともに、スポーツ団体やプロスポーツチームとの連携を強化することで、地域スポーツの活性化と愛着の醸成を図ります。
- ・誰もが楽しめるスポーツの普及などにより、性別や年齢、障がいの有無、国籍などを問わず誰もがスポーツに親しみ続けられる環境を構築します。
- ・社会体育施設を適切に管理し有効活用していくことで、誰もがスポーツを身近に楽しめる環境づくりを推進します。

<単位施策指標>

- 体育施設利用者数

基本施策（3）

学校を中心とした コミュニティの輪を広げる

▶ 基本施策の目的と方向性

学校・家庭・地域が連携・協働することで、子どもたちの学びの場である学校を中心に、地域でつながり、関わり、協力し、共感し、成長するというコミュニティの循環を生み出し、人とまち全体のウェルビーイングの実現を図ります。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

▶ 単位施策の方向性

① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- 研修会への参加などを通じて、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の担い手がお互いに理解を深めることで、取組の一体的な推進を図ります。
- 幅広い層の地域住民の参画を得て、学校・家庭・地域が連携・協働した学校づくり・地域づくりを推進します。

<単位施策指標>

- 「自分の住んでいる地域のことが好きです」と答える児童生徒の割合

学校を中心としたコミュニティの輪を広げる

基本施策（4）

まちの文化財を次世代へつなげる

▶ 基本施策の目的と方向性

「ふちゅうの宝」である文化財、特には国の史跡指定を受けた「下岡田官衙遺跡」について、保存に係る最適な取組を実行するとともに、本史跡に親しみ学ぶ場の提供を図り、人々が集うことでのふるさとの誇りと愛着を育み、次世代へ継承します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 歴史を身近に感じる機会の創出と文化財の適切な保存・活用

▶ 単位施策の方向性

① 歴史を感じる機会の創出と文化財の適切な保存・活用

- 歴史や文化に関する企画展や講座などを開催することで、住民が歴史や文化に気軽に触れ、親しみ学ぶ場を提供します。
- 下岡田官衙遺跡の遺跡調査を継続して行うとともに、整備・活用に関する計画策定を進め、遺跡の保存と活用を推進します。
- ふちゅうの歴史や民俗に関する町内文化財を適切な方法で保存し、後世に継承します。

<単位施策指標>

- 歴史・文化財に関する啓発活動回数

まちの文化財を次世代へつなげる

基本施策（5）

安心して学びあえる教育環境をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

子どもたちが学び生活する場である学校施設の計画的な改修と、地域の生涯学習拠点となる社会教育施設の整備を行うことで、安全・安心な教育環境を整えるとともに、脱炭素化やバリアフリー化を推進します。

よりよい学校教育の実現に向けて、多様な教育ニーズに応じた教育支援体制の充実を図るとともに、教職員の「働きやすさ」と「働きがい」が両立できる環境づくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 教育施設・設備の整備
- ② 教育体制の充実

▶ 単位施策の方向性

① 教育施設・設備の整備

- ・ 学校施設の計画的な修繕・改修や予防保全的な維持管理を行うとともに、空調の設置やバリアフリー化を進め、児童生徒が快適な学校生活を送ることができる環境を整備します。
- ・ 社会教育施設を計画的に整備し、住民が安心して集い、学ぶことができる環境を提供します。

<単位施策指標>

- 施策(事務事業総括)進捗率

② 教育体制の充実

- ・ スクールカウンセラー等の配置や教育支援センターの体制整備により、児童生徒一人ひとりを大切にする教育を充実します。
- ・ 学校業務の効率化など執務環境の改善に取り組み、教職員の「働きやすさ」と「働きがい」の両立を推進します。

<単位施策指標>

- 「学校に行くのは楽しい」と答える児童生徒の割合

3

基本目標

【地域・環境】

つながりを深め 豊かに
「暮らしたい」



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

(1) 地域のさまざまなつながりを支える

● ●

(2) 豊かで持続可能な環境をつくる

● ●

基本施策（1）

地域のさまざまなつながりを支える

▶ 基本施策の目的と方向性

誰もが互いに人権を尊重し、地域の中で豊かに暮らせるよう、地域における人と人との関わり方の変化を踏まえつつ、住民・事業者・行政が相互に連携・協働できる仕組みを構築し、地域全体の活性化を図ります。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 地域コミュニティの活性化
- ② 商工業の活性化
- ③ 人権の尊重と男女共同参画社会の推進

▶ 単位施策の方向性

① 地域コミュニティの活性化

- ・ 地域住民の交流・活動・コミュニティの場を提供するとともに、住民・行政の連携による地域課題の解決と活性化を推進します。
- ・ 町内会のイベント開催や加入促進などを支援することで、住民の自主性を尊重しつつ、地域と行政の連携を推進します。

<単位施策指標>

- 町内会加入促進のイベント満足度

② 商工業の活性化

- ・ デジタルマップなどによる情報発信やイベントの開催を通じて、地元企業や商工会・観光協会などの関係団体が連携することで、地域での一体的な活性化を図ります。
- ・ 創業支援などを通じて、地元中小企業の活性化を図ります。

<単位施策指標>

- デジタルマップの利用者数

③ 人権の尊重と男女共同参画社会の推進

- ・ 出前講座などのイベント等を通じて人権意識の普及・啓発を行い、住民の人権意識を高めることで、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。
- ・ 講演会などのイベント等での普及・啓発活動を通じて、性別に関わりなく、一人ひとりの個性を尊重し、個人の能力を十分に發揮できる男女共同参画社会の実現を目指します。

<単位施策指標>

- 啓発活動の参加者数

基本施策（2）

豊かで持続可能な環境をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

人々の生活、地域経済、まちの自然、それぞれが支えあいバランスを保ちながら共生し、美しく恵み豊かな環境を次世代に継承します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① ゼロカーボンシティの実現
- ② 豊かな自然環境との共生
- ③ 循環型社会の形成
- ④ 地域協働による環境づくりの推進
- ⑤ 快適で質の高い生活環境の保全

▶ 単位施策の方向性

① ゼロカーボンシティの実現

- ・ 住民や事業者が行う省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入を支援することで、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進します。
- ・ 町の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減のため、公共施設の省エネルギー性能の向上を図ります。

<単位施策指標>

- 温室効果ガス排出量削減率

② 豊かな自然環境との共生

- ・ 土砂災害の防止や二酸化炭素の吸収といった森林がもつ公益的機能を維持・保全するため、森林整備と適正管理により、森林の再生を図ります。
- ・ 自然にふれあう憩いの場として、水分峡森林公园の安全で快適な公園利用を推進します。

<単位施策指標>

- 水分峡森林公园来園者数

③ 循環型社会の形成

- ・ 住民・事業者・行政の協働のもと、分別・リサイクルを進めることで、ごみの大幅な減量化を推進します。
- ・ 誰もがごみのことで困らない、住みよいまちにむけて、持続可能で安定したごみの収集・運搬・処理体制を構築します。

<単位施策指標>

- 一人一日あたりのごみの排出量

④ 地域協働による環境づくりの推進

- まちの清掃・美化活動など、地域での環境保全活動を促進することで、美しいまちなみを形成します。
- 環境教育や環境学習を充実させ、取組の輪を広げることで、環境活動の活性化を図ります。

<単位施策指標>

- 環境ボランティアの団体数

⑤ 快適で質の高い生活環境の保全

- 大気・水質等の状況を継続的に把握し、生活環境の悪化を未然に防止します。
- 公共下水道を整備し、維持管理していくことで、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図ります。
- 関係機関と連携し、安全で安定した水の供給を確保します。

<単位施策指標>

- 水洗化率

4 基本目標 【安全安心】

安全なまちで 安心して
「暮らしたい」



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 災害に強いまちをつくる | ● ● |
| (2) 安全に暮らせる地域づくりを支える | ● ● |
| (3) 安心して暮らせる消防体制をつくる | ● ● |

基本施策（1）

災害に強いまちをつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

大規模自然災害に備え、防災対策を着実に講じることで、災害の発生を抑制するとともに、災害発生後の被害が最小限となるよう、災害に強いまちづくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 防災体制の充実・強化
- ② 市街地の土砂災害・地震対策
- ③ 市街地の浸水対策

▶ 単位施策の方向性

① 防災体制の充実・強化

- ・近年の災害で得られた知見を踏まえ、備蓄物資の改善・充実を進め、防災力の一層の向上を図ります。
- ・避難施設の機能強化を図り、住民が安心して避難できる環境を提供します。

<単位施策指標>

- 備蓄品の計画数量に対する充足率

② 市街地の土砂災害・地震対策

- ・家屋・宅地等への災害対策を支援することで、災害発生時の被害低減と二次被害の防止を推進します。
- ・地域の協力を得ながら、住家への被害が想定される急傾斜地への対策を進め、災害を未然に防止します。
- ・事前防災対策である砂防堰堤などの土砂災害防止施設について、県と連携を図り、着実に整備を推進します。

<単位施策指標>

- 災害対策を実施した箇所数

③ 市街地の浸水対策

- ・雨水排水施設を適切に管理し、健全性を保つことで、市街地を浸水被害から守ります。
- ・防災重点ため池を適切に管理することで、豪雨や地震時におけるため池の決壊等を防止します。
- ・一級河川について、管理者である県と連携を図り、河川改修や浚渫などの氾濫防止対策を推進します。

<単位施策指標>

- 浸水被害対象家屋数

基本施策（2）

安全に暮らせる地域づくりを支える

▶ 基本施策の目的と方向性

住民・関係団体・事業者・行政が連携し、常日頃から顔の見える関係を構築することで、自助・共助・公助による安全安心な地域づくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 地域防災力の向上
- ② 地域安全活動の推進

▶ 単位施策の方向性

① 地域防災力の向上

- ・ 自主防災組織の活動や防災士などの担い手育成を支援することで、地域における防災活動の充実を図ります。
- ・ 自主防災組織や防災士と行政が連携し、防災意識の啓発や訓練を実施することで、住民の防災・減災に関する知識の向上を図ります。

<単位施策指標>

- 防災士と連携して実施する活動回数

② 地域安全活動の推進

- ・ 交通安全対策や防犯対策を住民・関係団体・行政が連携して推進することで、事故や犯罪を未然に防ぐ地域づくりを推進します。
- ・ 安全で安心な消費生活を実現するため、地域での見守りネットワークづくりや啓発活動をはじめとした消費者行政を推進します。

<単位施策指標>

- 家庭での防犯対策件数
- 啓発活動参加者数

基本施策（3）

安心して暮らせる消防体制をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

災害の激甚化や救急需要の増加など、社会の変化に対応した消防・救急体制を構築するとともに、地域と連携して地域全体の防火能力と救急対応能力を強化することで、住民が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 火災予防体制の充実・強化
- ② 消防体制の充実・強化
- ③ 救急体制の充実・強化

▶ 単位施策の方向性

① 火災予防体制の充実・強化

- ・出前講座などを通じて、住民の防火意識を向上させるとともに、地域における防火能力の向上を図ります。
- ・子どもたちへの防火教育などを通じて、未来の防火防災を支える人材育成を図ります。

<単位施策指標>

- 防火に関する啓発人数

② 消防体制の充実・強化

- ・消防・防災活動に必要な施設や設備を計画的に整備することで、消防・防災力の充実・強化を図ります。
- ・複雑化・多様化する火災や災害に適切に対処するため、消防隊員のさらなる専門知識や技術の習得を推進します。
- ・消防団が将来にわたって地域防災力の中核として役割を發揮できるよう、装備の充実や団員の確保などを推進します。

<単位施策指標>

- 消防隊員の訓練回数

③ 救急体制の充実・強化

- ・救急救命士を育成・確保することで、救急体制の充実・強化を図ります。
- ・住民への救急講習やAEDの普及啓発等を通じて、救急搬送者の救命率と住民の救急対応能力の向上を図ります。

<単位施策指標>

- 救命救急士搭乗率

基本目標 4 安全なまちで 安心して 「暮らしたい」

5 基本目標 【生活基盤】

いつも心地よく 便利に
「暮らしたい」



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

(1) 快適さを感じる都市空間をつくる

● ●

(2) 暮らし心地を高める都市基盤をつくる

● ●

(3) 便利で暮らしやすい住環境をつくる

● ●

基本施策（1）

快適を感じる都市空間をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

まちの特徴であるコンパクトさと交通ネットワークの利便性を将来にわたって持続させ、誰もが快適で暮らしやすい都市空間を形成します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 集約型都市構造の形成
- ② 移動の円滑化

▶ 単位施策の方向性

① 集約型都市構造の形成

- ・ 人口減少社会においても持続可能なまちづくりを推進するため、計画的な土地利用の誘導や都市機能の集積を図り、コンパクトシティの成熟を図ります。

<単位施策指標>

- 居住誘導区域内の人口密度

② 移動の円滑化

- ・ 交通事業者と地域・行政が連携し、持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を目指します。
- ・ 歩行者や自転車が快適で安全に通行できる、誰もが移動しやすい都市空間を創出します。

<単位施策指標>

- 公共交通(つばきバス)の年間利用者数

基本施策（2）

暮らし心地を高める都市基盤をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

魅力ある都市施設を計画的に整備し、豊かな暮らし心地が実感できるまちなみを形成します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 計画的な都市施設の整備
- ② 公園の充実

▶ 単位施策の方向性

① 計画的な都市施設の整備

- ・ 都市計画道路を計画的に整備することで、便利で安全な道路交通網の形成を図ります。
- ・ JR向洋駅周辺において、道路や宅地を計画的に整備し、「ふちゅうの南の玄関口」として魅力と賑わいあふれる都市空間を創出します。

<単位施策指標>

- 新規整備を行った都市計画施設数
- 土地区画整理区域の都市施設整備率

② 公園の充実

- ・ 揚倉山健康運動公園と空城山公園について、ニーズに即した再整備を行い、誰もが楽しむことができる、賑わいや憩いの空間を創出します。
- ・ 都市公園の整備や公共空地等の有効活用などにより、地域住民の新たな「集いの場」を創出します。

<単位施策指標>

- 新設・大規模改修した公園・広場の箇所数

基本施策（3）

便利で暮らしやすい住環境をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

住民に身近な生活道路を計画的に整備・保全するとともに、快適な住まいづくりを促進し、良好な住環境の向上を図ります。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 生活基盤施設の保全
- ② 生活道路の整備
- ③ 快適な住まいづくりの促進

▶ 単位施策の方向性

① 生活基盤施設の保全

- ・ 道路や公園の改修や更新を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。
- ・ トイレなど公園施設の更新時にバリアフリー化を進め、さまざまな公園利用者が快適に過ごせる環境づくりを推進します。

<単位施策指標>

- 補修・修繕が完了した道路、橋りょう
(計画期間中の進捗率)
- 施設の改修が完了した公園
(計画期間中の進捗率)

② 生活道路の整備

- ・ 身近な生活道路の環境を改善し、住民の安全な通行空間を確保するとともに、緊急車両の進入を可能にすることで、生活利便性と安全性、防災性の向上を図ります。

<単位施策指標>

- 拡幅整備を行った町道の延長(累計)

③ 快適な住まいづくりの促進

- ・ 住宅改修等の支援を行い、良好な住環境の形成を図るとともに、老朽化した町営住宅の整備を行うことで、居住の安定を確保します。

<単位施策指標>

- 新設住宅の着工戸数(累計)

6

基本目標

【自治・行政】

みんなの「暮らしたい」を支える



※イラストは仮置きです

基本施策

ページ

(1) 魅力的で暮らしたくなるまちをつくる

● ●

(2) 暮らしに寄り添える体制をつくる

● ●

(3) ずっと暮らし続けられる行財政基盤をつくる

● ●

基本施策（1）

魅力的で暮らしたくなるまちをつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

まちの特色を活かした独自性のある取組を推進し、まちの魅力を向上させることで、「暮らし続けたい」「戻ってきた」「暮らしてみたい」と評価される地域ブランドの確立を推進します。

原爆被害を受けた自治体として、他自治体と協力しながら核兵器廃絶と恒久平和の実現を目指します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 地域ブランド力の向上と発信
- ② 平和行政の展開

▶ 単位施策の方向性

① 地域ブランド力の向上と発信

- ・ 地域資源を活用し、まちの新たな魅力をつくり出すことで、郷土愛の醸成とまちの活性化を図ります。
- ・ まちの魅力や情報などを幅広く発信していくことで、地域ブランド力を向上させ、移住人口や関係人口の増加を促進します。
- ・ 単独市制による都市的イメージの獲得など、まちの独自性や強みを活かした取組を多角的に調査・研究することで、全国的な認知度を向上させる取組を推進します。

<単位施策指標>

- プロモーションサイトのアクセス数(累計)

② 平和行政の展開

- ・ 慇靈式平和祈念式の挙行や被爆の実相を発信し、次の世代とともに核兵器廃絶、恒久平和の実現を目指します。
- ・ 非核宣言自治体等と連携し、世界に核兵器廃絶の気運を高める取組を進めるとともに住民意識の高揚を図ります。

<単位施策指標>

- 平和に関する情報発信回数(累計)

基本施策（2）

暮らしに寄り添える体制をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

さまざまな手法により行政サービスの質を高め、多様化する住民ニーズに対応することで、住民の暮らしに寄り添い続けられるまちづくりを推進します。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 総合的なまちづくりの推進
- ② デジタルトランスフォーメーション（DX）による行政サービスの向上
- ③ 広報公聴の充実

▶ 単位施策の方向性

① 総合的なまちづくりの推進

- ・ まちの将来像実現に向けて、中長期的な政策の方向性や目標を明確にすることで、適切で効果的な施策を推進します。
- ・ 社会情勢や住民ニーズを把握し、適時適切に計画へ反映することで、住民一人ひとりに寄り添った施策の展開を図ります。
- ・ 近隣自治体との広域連携を通じて、効率的で質の高い行政サービスを提供することで、圏域全体の基盤強化を図ります。
- ・ 包括連携協定の締結など民間企業との連携を強化し、地域共創・官民連携の取組を推進します。

<単位施策指標>

- 単位施策目標の達成率

② デジタルトランスフォーメーション（DX）による行政サービスの向上

- ・ 各種申請や届出等についてオンライン対応を進め、場所や時間の制約なく受付できる体制を整備します。
- ・ オンラインでの手続きに関して、デジタル技術に精通していない人でも利用できるよう工夫することで、誰もが気軽に手続きできる環境を構築します。

<単位施策指標>

- 電子申請の利用割合

③ 広報公聴の充実

- ・ 広報ふちゅうやホームページだけでなく、SNSをはじめとするさまざまな媒体を活用することで、住民・行政が双方向でまちの情報を発信できる体制を構築します。

<単位施策指標>

- SNS の合計登録者数(累計)

基本施策（3）

ずっと暮らし続けられる 行財政基盤をつくる

▶ 基本施策の目的と方向性

将来にわたってどんな「暮らしたい」もかなえられるよう、社会情勢や住民ニーズに的確に対応しつつ、次世代負担の軽減・平準化を考慮した行財政運営に努めます。

住民の暮らしを支え続けられるよう、人口減少などの社会情勢を見据え、職員の働き方の見直しや業務の効率化を推進するとともに、社会の変化に柔軟に対応できる職員の育成を図ります。

イラスト/画像
(仮)

<単位施策一覧>

- ① 財政基盤の安定化
- ② 公共施設の適切な管理
- ③ 公有財産の有効活用
- ④ 持続可能性を高める職員づくり・組織づくり

▶ 単位施策の方向性

① 財政基盤の安定化

- 町税などの自主財源を安定的に確保するとともに、財政の健全化に不断に取り組むことにより、持続可能な財政基盤を構築します。

<単位施策指標>

- プライマリーバランスの黒字

② 公共施設の適切な管理

- 公共施設の定期的な点検を実施するとともに、効果的・効率的な予防保全改修を行うことにより、快適な施設利用を提供します。

<単位施策指標>

- 実施計画期間中の改修実施箇所数

③ 公有財産の有効活用

- 遊休地となっている公共空地の有効活用や、公共施設駐車場の有料化など、既存の公有財産による新たな価値の創出や自主財源の確保について検討します。

<単位施策指標>

- 公有財産の活用事例数

④ 持続可能性を高める職員づくり・組織づくり

- 安定した行政サービスを提供し続けるため、デジタル技術による業務効率化と持続可能な組織体制の構築を推進します。
- 社会の変化に柔軟に対応できる職員を育成するため、デジタル技術の活用をはじめとした、職員のスキルアップを推進します。

<単位施策指標>

- 庁内部処理の電子化率

